



大人が絵本を 第65回 絵本の日アワード にみる



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事ファウンダー

男性育児休業の時代に

昨年11月、政府は男性国家公務員に育児休業取得を促す検討に入りました。安倍首相は、「国家公務員が率先して大胆に取り組むことは、国全体の男性の育児休業の取得率向上へ重要だ」との制度設計を指示し、2020年度の実施を目指すといます¹⁾。

1990年の合計特殊出生率「1.57ショック」をきっかけに国は検討を始め、2003年に施行された「少子化社会対策基本法」で策定された「少子化社会対策大綱」が昨年、5年に1度の見直しの年となりました。新たにまとめられた提言では、目標を「希望出生率1.8」と掲げた上で「若い世代が希望する時期に結婚でき、子どもを持つことができる社会をつくる」とし、なお、「性別による役割分担を前提とした働き方や暮らし方を見直し、育児休業などの定着促進や男性の家事・育児への参画促進」が骨子とされ、今年度中、つまりはこの3月中に新たな大綱として決定するようです²⁾。

このような流れに対して、埼玉県で2004年から父親支援を行っているNPO法人新座子育てネットワークの代表理事である坂本純子氏は、「育児ストレスや悩みを抱えたとき、その解消が上手にできなければ、矛先は赤ちゃんに向かう。男性の育児義務化を議論するならば、子どもにとってどんな環境が最適か忘れずに考えてほしい」と警鐘を鳴らしています³⁾。

現実問題として児童虐待摘発件数は、ここ何年も「過去最多」を更新する深刻な実態にあります。本連載でも第62回で虐待をテーマに取り上げたばかりで、2019年は母親および父親による虐待事件が相次ぎ、そのたびに各自治体で防止に向けての対策が講

じられてきましたが、無情にも事件は続いたのです。男性育休制度の実施を急ぐよりも、坂本氏が指摘するように、育児環境そのものの整備が最優先ではないでしょうか。

子どもの人権、尊重されているの？

坂本氏の警鐘は、対策を語るより早々に現実となっていました。昨年12月6日、育児休暇を取得中の県庁職員の父親が、生後4か月の長男を虐待していたことが報道されました。「あやしたのに泣きやまないから」と子どもを殴り、頭部骨折、肋骨骨折、肺挫傷、肝臓損傷などのケガを負わせたのです。

出生率低下と乳幼児虐待は、表裏一体の問題にあるようです。育児に当たっては、父親・母親学級などの保健指導を受けていると思います。そこで人権教育がどの程度行われているのか、自治体格差があるのでしょうけれど、養育者となるすべての大人に、子どもは養育者の所有する者でないことを確認することが必要です。

文京区の小児科開業医が平成9年から始めた「子育て支援セミナー」の内容をまとめた小冊子の巻末には、米国の詩人カレル・ギブラーンの『The Prophet = 預言者』の一節「子どもについて」の訳文が引用されています。「あなたの子どもはあなたの子どもではありません。(中略)愛情を与えることは出来ますが、あなたの思い通りに考えを植え付けることはできません。子どもは子ども自身の考えをもっているのですから、子どもの体を家の中においておくことは出来ますが、子どもの魂をとどめておくことはできません」⁴⁾。1923年に発表された言葉が今、胸に突き刺さるのです。

手にするときは！

「絵本のチカラ」の底力

企画 濱野 良彦
構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

あつという間に訪れる子離れのとき

子育てには、それぞれの家庭のやり方があると思いますが、共通して大事なことは、親の愛を注ぎながら子どもの生きる力を養い、きちんと自立させることです。親には、子どもの人権を尊重しつつ、自立するその日まで養育する責任があるのです。そのようなことを発信している絵本をご紹介します。

電話機の赤いスパイラルコードを身体に巻きつけ、受話器を耳に当てた猫が表紙絵の『もしもしおかあさん』です。表紙をめくった標題紙(扉)で、ダイヤル式電話機が目飛び込んでくると、時代を感じずにはいられない1979(昭和54)年初版の絵本です。

イラストは、ちぎり絵に着色する技法が特徴の、いもとようこ氏でして、その独自のカラーージュによるやわらかで優しいタッチは、それだけで心がほんわかと丸くなるのです。そんな温かい絵と、童話作家・久保喬氏のストーリーとが補完しあって、心にじ〜んと染み入る絵本です。大人の絵本といえるでしょう。

『もしもしおかあさん』
久保 喬 作
いもとようこ 絵
(金の星社)



お話は、3匹のかわいい赤ちゃんが生まれて、お母さんになった猫が主人公です。子育ての時期はあつという間に終わり、すぐに子離れのときが訪れます。「親子で一緒にいられる時間はずっと続くものではない」としみじみ感じられます。育児に疲れていると感じているママやパパ自身が読むと、子どもとの今の時間を大切にしたいと心穏やかになれると思います。絵本で、そういう思いを抱く時間を

作ってもらいたいのです。

絵本の力を発信している私たち“医療法人元気が湧く”は、この『もしもしおかあさん』によって、悲しみも苦しみも解きほぐされ、生きる力と希望を与えられた、あるご家族との出会いを果たしました。アウトプットによりインプットされた絵本のチカラというわけです。そのエピソードは、「絵本の日」アワード2019 in FUKUOKA さっちゃん(館長)賞に輝きました。



絵本の日アワード2019 さっちゃん賞

受賞者……澤村健太郎 様(福岡県)

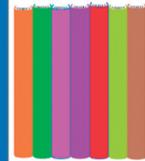
僕は長男で、次男と三男の間に妹が1人いる。妹は3歳の頃、肺炎を患い入院したが、退院の前夜には、すっかり元気になり病室を走り回っていた。退院の日、学校からの帰り道、伯父が慌てて僕を迎えに来て、その場で妹が意識不明だと言った。

急いで伯父の家に行くとお袋から電話があり妹が死んだと聞かされた。だが、その直後AEDを行い心臓が動きだし、別の病院へ救急搬送され、何とか一命を取り留めたものの心肺機能の低下で呼吸が難しく、喉へ気管切開をする緊急手術が行われた。その夜、病院に泊まった僕と弟は翌朝妹に面会した。妹の鼻には管が通り喉には穴が開き医療器具が取り付けられていた。「喉に穴ば開けたけん、もう声は出せんよ。」お袋は僕と弟に言った。

もうあの日から27年。妹は30歳になり故郷にある障害者の療養施設にいる。

僕らが最後に聞いた妹の声は退院前夜の病室で無邪気に笑う声だった。お袋がある時僕に聞いた。「今、もし声が出せたら何て言うとかやろね？」

僕の娘が3歳になった時、お袋から古くなった絵本



をもらった。急に人にもらわれていった子猫を探す親猫が探し疲れ眠りにつく夢の中で子猫から電話がかかってくる物語。僕も弟も妹も幼い頃に読んでもらった絵本を、色褪せてもお袋はなぜかずっと持っていた。物語の親猫がお袋に思え、胸が熱くなる。

テウルルテウルル、もしもしおかあさん。本当はあの日からずっと苦しかった？

退院当日、妹に付き添っていたお袋が少し眠った隙に妹が急変した。だからずっと自分を責めてきたんだよね？ 妹の声は聞こえないけれど、声を失った訳じゃない。妹がどこかに隠したんだ。その声を見つけた時、妹はきっこう言うよ。

“もしもしおかあさん、私を生んでくれてありがとう”ってね。

雨の日も晴れの日もいつも同じ空の下で妹は懸命に生きる。その事実とその姿で、あれからの僕らがどれだけ救われたと思いますか？

“もしもしおかあさん、この命をありがとう”



さっちゃんは、小児外科医！



澤村様のこのエピソードは、子育て真っ只中にいる、すべてのお父さまお母さま、そして子ども虐待を犯した大人に届けたい作品です。育児論や基本的人権を理路整然と唱えるよりも、心に響く力があるのです。その力を発信してくださった澤村様ご自身の、男性育児の様相がエピソードより伺えます。そしてまた、いのちを見つめることができるのです。

ビブリオキッズの水田祥代（さっちゃん）館長は、「『もしもしおかあさん』のお母さんは、子どもたちとの電話によって安心していました。澤村さんのお母さんは、入院中の妹さんから目を離したことを思い続けていると思います。澤村さんが言うように、声は出せないけれど妹さんの心の声は、“おかあさん、ありがとう”と届いていると、その気もちが作品から伝わってきました」と、昨年の授賞式で選考理由を評しました。このコメントはビブリオキッズ館長の前

に立つ、小児外科医の視点にもよるものでしょう。



さっちゃんはね…



女性医師の先駆者である、ビブリオキッズ館長のさっちゃんは、子どもと絵本、それに「かわいい」が大好きな乙女心あふれる医師です。その心と思いは、九州大学病院長時代に、小児医療センターの内装を絵本の世界のようにプロデュースしたことからもよく分かります。新築プロジェクトチームには、造本作家でデザイナーの駒形克己氏も所属しており、つまり、ビブリオキッズの総合プロデューサーと館長は、医療・建築デザイン関係者との協業によって、絵本と一体化したような小児医療センターを創りあげているのです⁵⁾。

医療の発展のため、患者様の気持ちをくみ取った医療環境づくりのために、先を見据えて改革を計りながら東奔西走するアクティブなさっちゃん先生に、私たちは、またまた驚かされてしまいました。長年の夢と伺っていた絵本の出版を昨年、実現したのです。自叙伝絵本『さっちゃんはね…』のイラストは駒形あい氏、すなわち駒形克己氏のご令嬢であるデザイナーです。

しかしながら、水田館長はなぜ、九州大学病院を共にプロデュースし、信頼をおく駒形克己氏に依頼しなかったのでしょうか。医療法人元気が湧くスタッフ一同が抱いたこの疑問は、昨年の「絵本の日」2019記念イベントで行われた『さっちゃんはね…』刊行記念インタビュー”で解明されることになりました。

『さっちゃんはね…』
水田祥代 監修
駒形克己 作
駒形あい 絵
(ONE STROKE)



九州大学病院小児医療センター開設時、駒形克己氏に絵本『もりのおいしゃさん』を創っていただいたことがご縁で、「いつか、さっちゃん先生の絵本を

創ろう」と約束を交わしたお二人でした。念願を叶える絵本制作に当たって、いの一番に駒形氏に相談したのですが、送られて来た氏のさっちゃん画は、さっちゃん先生には「かわいくなかった」のです。「かわいい絵が好きなのに。気に入らない」と駒形親子へ伝えると、さらにあい氏より、「お父さんは女心を分かっていない」と女性2人にダメ出しをされ、駒形氏が選んだ道は、「だったら、君が描いてみては」と、矛先があい氏に向けられて、無事2019年4月、ONE STROKEより出版されたのでした。あい氏の描いた“さっちゃん”を水田館長が一目で気に入ったことは言うまでもありません。

「わかったつもり」でいるすべての方に

小学2年生の教科書(東京書籍『あたらしい国語』)に掲載された『もしもしおかあさん』は、所変われば新書でも活用されています。光文社新書『わかったつもり』という本で、「後から考えて不十分だというわかり方を、『わかったつもり』と仮定したうえで、文章をより深く理解するためには「わかったつもり」の状態を抜け出さなければならぬと説いています。

その教材に『もしもしおかあさん』を示し、「『読む』という行為の『わかった』状態とは、『わからない部分が見つからない』という状態で、浅いわかり方から抜け出すことを困難にしている『わかった』というひとつの安定状態であること」と注意喚起し、絵本を活用して理解を促進しているのです⁶⁾。

サブタイトルは「読解力が見つからない本当の原因」とされており、書名と副書名により、何を言わんとしているのか見えてくるのですが、それはまさに「わかったつもり」の状態です。著者である宮城教育大学教育学部教授の西林克彦氏は、「『わかったつもり』が、そこから先の探索行動を妨害する」と指摘し、「多彩で大きな力をもつ『文脈』に着目して、『わかったつもり』という相手に立ち向かう」術を述べています⁶⁾。

この指摘こそ、大人が絵本を読むときのスタイル

そのものではないでしょうか。大人が、子どもと共有するために絵本を手にするときも、大人自身のために手にするときも、「わかったつもり」の読み方をしていないか、自問してみてください。

西林氏は、「批判的に読み、かつ記述できることが望ましいのは当然のことで、読解力は、これからの社会で必要であることに間違いない」と述べています⁷⁾。医療従事者には重要な観点です。お手頃価格で手に入る新書ですので、『もしもしおかあさん』と合わせて入手して、職員研修会に活用するのもおすすめです。大人に向けた「絵本」の知名度が高まっているようです。



尽きることのない「絵本のチカラ」の底力

「絵本の日」アワード2019 in FUKUOKAによって、私たちが「わかったつもり」でいた絵本のチカラには、まだまだ確認できないでいる多様なチカラが果てしなくあることを教えられました。毎日が探索行動の積み重ねであること、絵本のチカラを完全マスターする日はないことを改めて肝に命じました。絵本探究によるインプットとアウトプット、アウトプットによるインプット活動の使命が司書にはあるのです。

これからも、歯科医療に従事される皆さま方と、職域を超えて互いの知識・情報を共有していきたいと願います。



文献

- 1) 日本経済新聞社：男性国家公務員の育休1カ月以上促進 首相指示, 日経電子版HP
<https://www.nikkei.com> 2019/11/1
- 2) 日本放送協会：少子化社会対策大綱提言 骨子に男性の家事育児の参画, NHK 政治マガジンHP
<https://www.nhk.or.jp> 2019/12/2
- 3) 日本経済新聞社：パパのスキル大丈夫? 男性の育休義務化で家庭も混乱, 日経エンシバSpotlight HP
<https://style.nikkei.com> 2019/11/17
- 4) 内海裕美 編集責任：泣いた、笑った、だいじょうぶ? だいじょうぶ!, 小石川医師会・文京区医師会・文京区, 東京, p.86, 2001.
- 5) すいたさちよ：さっちゃんね…, ONE STROKE, 東京, 巻末, 2019.
- 6) 西林克彦：わかったつもり - 読解力が見つからない本当の原因(光文社新書), 光文社, 東京, pp.36-42, 2005.
- 7) 同上6): pp.3-5.